



## 荒川区議会2月会議開催中

本会議が開かれ、来年度予算を含む議案が上程されました。各委員会で審議が進んでいます。同時に、日本共産党は2件の条例提案をしました。

### 荒川区中小企業事業継続支援補助金交付条例(案)

中小零細企業を対象に、新型コロナウイルス感染拡大によって昨年同月比の売上げが減少し、経営継続が困難になっている区内中小企業に対し月額30万円を上限に助成を行う条例案です。

2月19日の総務企画委員会で審議されました。国や都に更なる支援を求めるのは当然ですが、荒川区は中小企業を中心の構造です。区独自に中小企業者を支援する必要性を強く訴えましたが、自民、公明、ゆいが反対して委員会で否決されました。



### 荒川区就学援助の実施に関する条例(案)

就学援助の収入基準を生保の1.2倍から1.5倍に引き上げる条例案です。

荒川区の就学援助の認定率は毎年穏やかに減少しています。区内子育て世帯の所得が増加して豊かになっているのならば喜ばしいことです。しかし現実には、共働きの増加による見せかけの所得の増大です。税金や社会保険料等の負担増、家賃や住宅ローンなどの負担による可処分所得減少、生活保護基準の引き下げなどの要因で、中間所得層の困難の広がりが見られます。

2月22日の文教・子育て支援委員会で審議がされました。そもそもの基準が低すぎます。子育て世帯における教育費の重たい負担を少しでも軽減することは、区政のコロナ禍における緊急対策としても必要との思いで提案説明をしました。公明党から理事者に向け質問が1件あったものの、提案者への質問は一切なく、自民・公明、維新が反対して委員会で否決されました。

予算特別委員会の中でも、中小零細企業への支援と就学援助、2つの条例案実現のため頑張ります。

各委員会での 党派別態度	日本共産党	自民党	公明党	立憲・ゆい・ 無所属の会	維新・あた らしい党	日本創新 党	各委員会 での結果
中小企業事業 継続支援補助 金交付条例案	○	×	×	×	○	○	否決
荒川区就学 援助の実施に 関する条例案	○	×	×	×	×	△	否決

### 日本共産党荒川区議団一般質問の一部内容・答弁

①個人の尊厳とジェンダー平等の実現に向けて、LGBT当事者の声を具体化する検討を始めること。選択的夫婦別姓の法改正を強く国に求めること。

答弁:多様な性のありかたについて、機会を捉えてLGBT当事者から話を聞いている。今後も懇談を含め意見を伺いながら必要な支援策について検討していく。選択的夫婦別姓は広く国民の間で議論されるべき課題。今後も動向を注視する。



②幼児教育の発達障害等の支援体制強化を。幼稚園の定員改善を求める。また、自動発達支援センター化に先んじて、訪問支援・巡回支援専門員をたんぽぽセンター内に確保すること。

答弁:公立小学校の1学級あたりの上限人数を35人にする法案が国会に提出された。幼稚園設置基準の見直しにつながるのか関心をもっている。支援員確保は、たんぽぽセンター児童発達支援センター化のタイミングに合わせることを適切と考えている。

③コロナ感染リスク軽減対策・産業対策としてのCO2測定器設置を。「換気の見える化」が重要。

答弁:学校では国のガイドラインをもとに換気を行っている。高齢者入所施設や保育施設では、線香を使って煙の滞留する箇所を「見える化」して指導している。CO2測定器設置については検討していく必要があると認識している。

④生活保護行政について。申請用紙を窓口で置くことやダウンロードできるようにすべき。扶養照会が必要でないケースを、しおりやホームページで示すべき。わかりやすいQ&Aを掲載すること。

答弁:説明をしたうえで申請書を渡すため、窓口への常設やホームページなどからのダウンロードは「生活保護実施要領」の改正などが必要で、今後見据えて対応する。保護のしおりやホームページの充実を図り、制度開設のためのQ&Aを掲載していきたい。

⑤西日暮里駅前地区再開発について。

区民合意、公開性を無視した西日暮里駅前地区再開発の3月都市計画決定は中止することを求める。

答弁:都市計画決定の手続きを進めていく。



## ひとり親世帯臨時応援給付で児童ひとり1万円のお買物券配布

新型コロナウイルス感染症の影響により、困窮が深刻化するひとり親家庭を支援するため、臨時応援給付として、区内共通お買物券の配布を行います。予備費を活用する事業です。



【問合せ】子育て支援課  
電話番号:03-3802-3111  
(内線:3810)



給付対象:「ひとり親世帯臨時特別給付金」の基本給付を既に受けている又は申請している方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった方

給付内容:児童1人当たり1万円分の区内共通お買物券  
(有効期限:2021年9月15日)

配布時期:3月20日頃から順次簡易書留で郵送  
配布予定人数:約2000人(約1400世帯)

## 福祉施設等のPCR検査事業 実施状況(2月17日現在)

高齢者・障がい者の福祉施設等でPCR検査(ソフトバンクの唾液検査)を実施しています。東京都の事業に加えて荒川区独自に訪問系事業所への検査をしています。事業所での実施数は全体の約4割程度に留まっています。陽性者が確認された場合の利用者と事業者への保障が万全でない、検査数が伸びないのではないのでしょうか。

ワクチン接種が始まって、希望する方すべての接種が終わるのが、いつになるかわかりません。感染拡大を防ぐためには、ワクチン接種と並行してPCR検査も必要です。引き続き、PCR検査の拡充を求めます。



<行政検査以外の福祉施設等 PCR 検査実績>

- ・検査実施期間:2021年1月14日~3月25日
- ・検査予約数:176事業所、3,350件
- ・検査実績:1月検査数1,180件(陽性8件)、  
2月検査数961件(陽性0件)

一般高齢者 PCR 検査の申し込み状況

2月15日から先着1,000名で予約が始まりました。2月15日~17日の3日間で約710件の予約がありました。まだ余裕がありますので、ぜひご利用ください。

【一般高齢者向け PCR 検査問合せ】福祉部介護保険課  
電話番号:03-3802-3583(PCR 検査担当直通)

## 荒川区交流都市フェア in 春まつり

新しい生活様式にあわせて、今年度は日暮里駅前広場でのイベントは開催せず、交流都市を紹介するパネル展を新尾久図書館など、区内5会場で開催します。

また、特別企画として交流都市福袋(特産品等)を抽選で100名にプレゼントします。応募期間は2月19日(金)から3月18日(木)までです。パネル展会場・区ホームページ(交流都市紹介ページ)に隠されたキーワードを見つけて応募してくださいね。

パネル展 入場料:無料

尾久図書館(東尾久 8-45-4) 1階飲食スペース  
期間:2021年2月20日(土曜)~3月4日(木曜)



春まつりHP

その他、ゆいの森、区役所などで開催しています。

特産品・春まつり

りセットのWEB販売

春まつりに参加の交流都市(13都市)の特産品がWEBで購入できます。9都市では特産品を詰め合わせたお得な「春まつりセット」の販売も行っています。期間限定販売ですので、是非この機会にどうぞ。

## 交流都市福袋を抽選でプレゼント!!

◆賞品<<100名様>>

交流都市福袋(特産品・PRグッズ)

※福袋内容の中身は清酒「あらかわ」(福島市)、米沢牛カレーセット(米沢市)、鯛せんべい(鴨川市)、ホテルイカの干物セット(射水市)、福井県PRグッズ等から数品目。

※賞品は選べません。

◆応募方法

- ① パネル展会場(※西日暮里ギャラリーを除く)応募用紙を会場で配布。必要事項を記入の上、会場備え付けの応募箱にご投函ください。
- ② 荒川区ホームページ  
こちらから応募できます➡



定例☆法律相談

何でも・お気軽にどうぞ

3月19日(金) 18時半~20時

北村あや子事務所



海産物詰め合わせセット

オリジナル職人の酒セット

Ringo Madness tresor-3本セット

冬のちみぶ湯暖セット